

平成 23 年度 インスパイア・ハイスクール事業

「たのしい書道 ―ミニ作品にトライ―」

- 1 日 時 平成 23 年 12 月 17 日 (土) 9:00~12:00 (受付 8:30~)  
13:00~16:00 (受付 12:30~)
- 2 会 場 本校 美術教室 (特別教室棟 1 階)
- 3 参加者 午前の部: 中学生 2 名、小学生 2 名、保護者 3 名  
午後の部: 中学生 1 名、小学生 3 名、保護者 2 名
- 4 指導者 加古川西高等学校 書道教師
- 5 協力者 加古川西高等学校 書道部生徒 7 名
- 6 目 的  
毛筆を使うことによって、表現する喜びを体感してもらい、書道というのは、かた  
苦しいものではなく、楽しいものだということを知ってもらう。
- 7 内 容  
寸松庵色紙に漢字一文字あるいは好きな言葉を各自のイメージで作品にする。
- 8 実施報告
  - (1) 自己紹介
  - (2) 制作手順の説明
  - (3) 書道の基本となる姿勢・執筆法の指導  
(ただし、今回の「楽しい書道」では、楽しく書いてもらうことを主眼としているので  
基本だけを説明した)
  - (4) 書きたい文字・言葉の決定
  - (5) 辞書などで書体を決定するとともに、イメージの決定
  - (6) 寸松庵色紙と同じサイズに切った半紙に試書
  - (7) 寸松庵色紙に清書
  - (8) 消しゴムで印を作る
  - (9) 清書に押印
  - (10) 各自が寸松庵色紙掛の形、色を選び、色紙掛に入れて完成
  - (11) 参加者に感想を一言ずつ述べてもらった
  - (12) 作品鑑賞
  - (13) 記念写真撮影



## 9 まとめ

終了後のアンケートも「大変よかった」が100パーセントと参加者に好感触であった。協力してくれた書道部生徒も「人に教えることの難しさを知ったが、小・中学生や保護者とふれあえて、楽しかった」と喜んでいて。また、一応、予定の内容を終えた後、一人の男子中学生が「日頃、筆を持ってないから」と残って書いていた。一緒に参加された保護者が、「もう終わりなさい」と止められたが、「まだ、いいですよ。」と言うと、本当にうれしそうに紙に向い、「自分の納得のいくまで書きたかった」と素晴らしい作品を仕上げ、満足して帰って行った。その姿に私も書道部生徒も「書く喜び」「書けるありがたさ」を改めて教えてもらい、大変勉強になった。このことが今回の交流を通しての一番の収穫であった。